

流域モニタリング一斉調査結果

1 背景

- ・ 県民一人ひとりが、人間活動と水循環など環境とのかかわりを正しく理解し、自ら環境に配慮した行動をするためには環境学習の果たす役割がきわめて重要です。
- ・ この環境学習は、子どもたちが水や自然と触れたり、遊んだりする機会をより多く創出することにより、その中で水や自然の大切さや人と自然との共生について学んでもらうためのものです。
- ・ 身近な水辺に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」（平成19年7月作成）を活用して、「流域モニタリング一斉調査」を平成21年度より実施しています。
- ・ この調査は水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待しています。

2 参加者公募状況

- ・ 幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局（県環境部水地盤環境課）では参加者募集の記者発表を行いました。
- ・ 34市町村において、広報、ホームページ、チラシの配布やラジオ等を活用して公募を行いました。

公募方法（平成24年度）

	広報	ホームページ	ちらし	広報+ホームページ 広報+ちらし	広報とその他	合計
尾張地域	10	2	1	1	1	15
西三河地域	8	1	1	4	0	14
東三河地域	4	0	0	1	0	5
合計	22	3	2	6	1	34
参考（H22）	30	2	9	2	6	49
参考（H23）	27	4	7	3	2	43

広報ながくて 5月号



広報ちりゅう 6月1日号



3 流域モニタリング一斉調査体験会（行政職員対象）

- 参加者の質問等に対応できるようにするため、市町村や県の担当者を対象に体験会を開催しました。「水の調査の進め方 水循環再生指標調査マニュアル」に従って、透視度調査やパックテスト（COD）、指標生物（水生昆虫等）による水質判定を行いました。

平成24年度流域モニタリング一斉調査体験会実施状況

	調査地点			実施日	参加人数
	一級河川	調査地点	実施地		
尾張地域	吉田川	あいち海上の森センター付近	瀬戸市吉野町	5月14日（月）	3
	堀川	辻栄橋付近	名古屋市北区		7
西三河地域	籠川	矢作川合流点付近	豊田市落合町	5月15日（火）	5
	逢妻川	逢妻橋付近	刈谷市泉田町		9
東三河地域	音羽川	音羽支所付近	豊川市音羽町	5月17日（木）	5
	朝倉川	飽海橋付近	豊橋市今橋町		12
海域	御津海岸	御馬漁港付近	豊川市御津町	5月23日（水）	5
	藤前海岸	藤前干潟活動センター前	名古屋市港区南陽町	5月24日（木）	3
	新舞子	新舞子マリナーパーク	知多市緑浜町	5月25日（金）	4

流域モニタリング一斉調査体験会の様子



堀川辻栄橋付近



朝倉川飽海橋付近

4 参加状況

- 今年度においては県内54市町村のうち、約4割の21市町村で参加がありました。昨年度と比較し、参加団体及び延べ参加人数が増加した反面、延べ地点数が減少しました。個人等少人数での参加が減少し、NPO等の団体主催での参加が増加したことによります。
- 流域モニタリング一斉調査参加状況は下図のとおりになります。

平成24年度流域モニタリング一斉調査参加状況

地域名	実施状況			
	市町村数	参加団体数	のべ参加人数	のべ調査地点数
尾張地域	6	44	450	64
西三河地域	9	88	362	152
東三河地域	6	9	190	14
合計	21	141	1,002	230
H21参考	25	83	884	287
H22参考	25	103	1,000	210
H23参考	22	134	860	256

※水質環境目標値市民モニタリングの数値を含む。

5 調査結果

- 流域別の傾向について（別図より）
 - ・流域別の傾向として、木曽川・庄内川等流域、矢作川等流域、豊川・天竜川等流域の比較的規模の大きな流域において相対的に評点が高く、項目ごとのバランスも良い結果となっています。逆に、日光川等流域、境川等流域、油ヶ淵等流域などの中小流域では相対的に評点が低くなっています。
 - ・この結果から、相対的に大きな流域ほど水がきれい、川の水量が安定しており、水辺への親しみやすさを感じているのではないかと推察されます。
 - ・各流域の詳細については別図のとおりになります。
- 経年変化と調査項目ごとの評点について（別表より）
 - ・各流域の経年変化については、大きな特徴はありませんでした。（サンプル数の少ない流域は除く）
 - ・調査項目ごとの評点で、水のきれいさについては、いずれの流域とも水の色やにおい等、調査者の「五感」を用いた評価が、CODパックによる評点よりも高いという結果になっています。
 - ・水の量の項目にある「湧水」について、各流域とも評価が低い傾向にあります。その要因として、調査地点に元々湧水が無いために評点を付けなかつたり、湧水自体の確認が難しいため、調査者が高い評価を付けにくかつたのではなかつたと推察されます。
 - ・各流域の詳細については別表のとおりになります

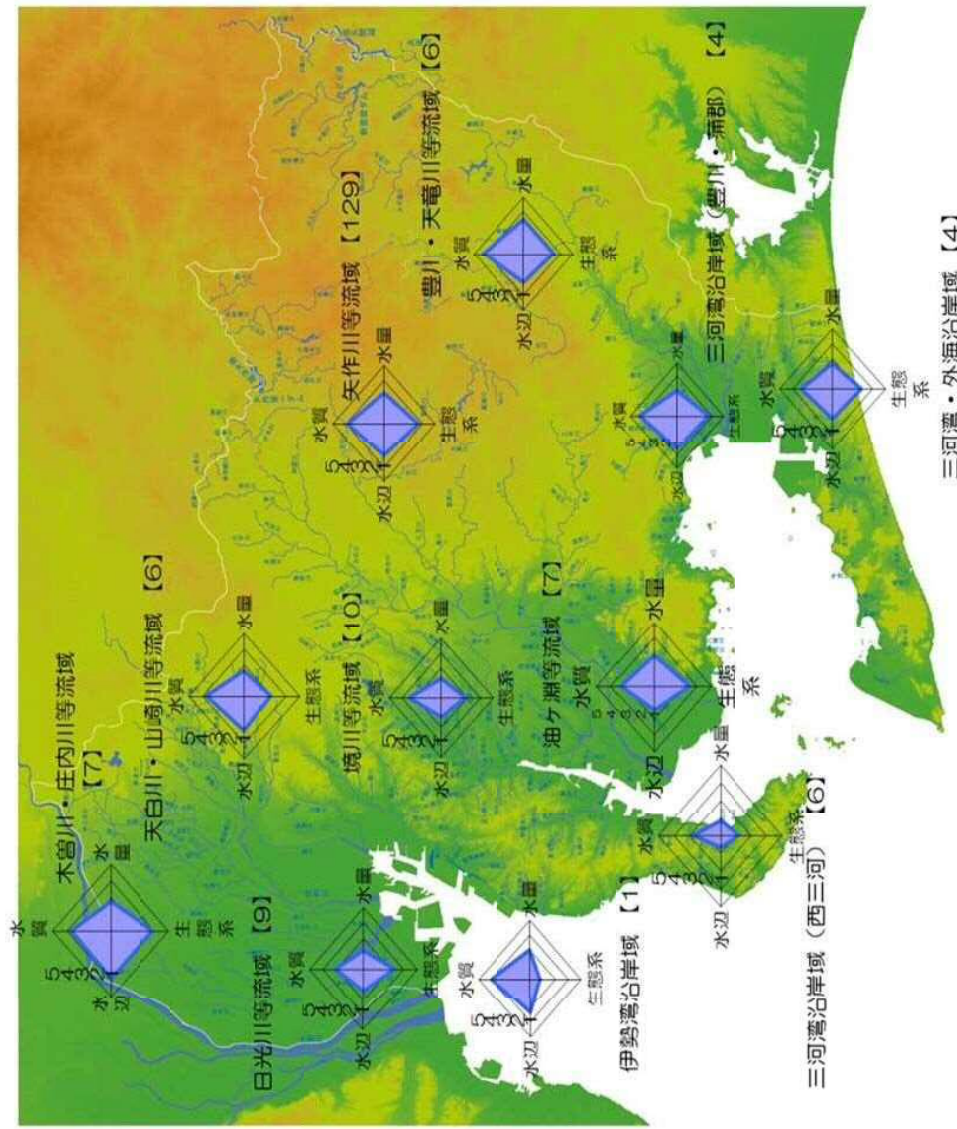
6 平成25年度の流域モニタリング一斉調査に向けて

- ・流域モニタリング一斉調査は来年度も引き続き実施します。
- ・事務局（県環境部水地盤環境課）で3月下旬に流域モニタリング一斉調査の参加者募集の記者発表を行いますので、市町村広報への掲載やちらしの配布をお願いします。
- ・流域モニタリング一斉調査参加者のうち、ボランティア保険へ加入を希望者される方には事務局の負担にて加入します。
- ・調査マニュアルである「水の調査の進め方」及び「モニタリングハンドブック」や調査票については配布できますので、必要部数を御連絡ください。
- ・透視度計の貸出を希望する参加者に対しては、21年度に配布したものを貸し出してください。
- ・平成25年度も5月下旬に自由参加での体験会を開催します。場所は今年度と同じ場所を予定しています。開催日時については、来年度に御連絡します。

H25流域モニタリング一斉調査スケジュール（案）

	24年度			25年度						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
地域協議会		○								
記者発表			○							
市町村広報等による公募				●●●●●●●●						
体験会					○					
保険の加入					○	—————	○			
流域モニタリング一斉調査						●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
調査結果とりまとめ								●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●

平成24年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）



調査項目

水質 水の色、濁り、におい 等
 水量 水深、流速 等
 生態系 魚、周辺の植物 等
 水辺 水辺への近づきやすさ、ごみ 等

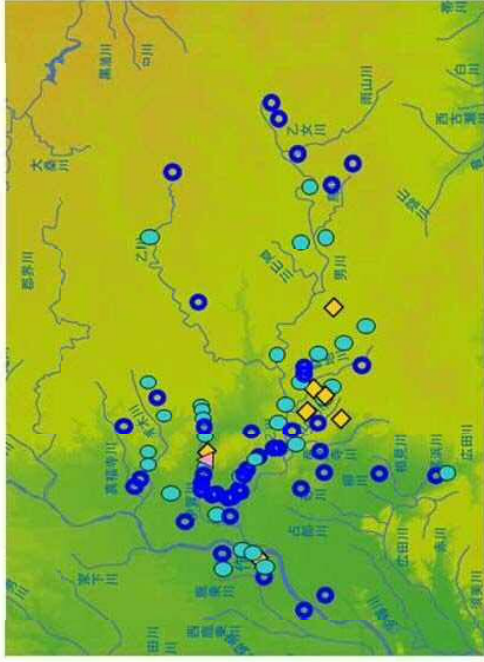
各項目を5段階評価しています

5	4	3	2	1
透明	(中間) 濁っている	少し濁っている	(中間) 濁っている	大変濁っている

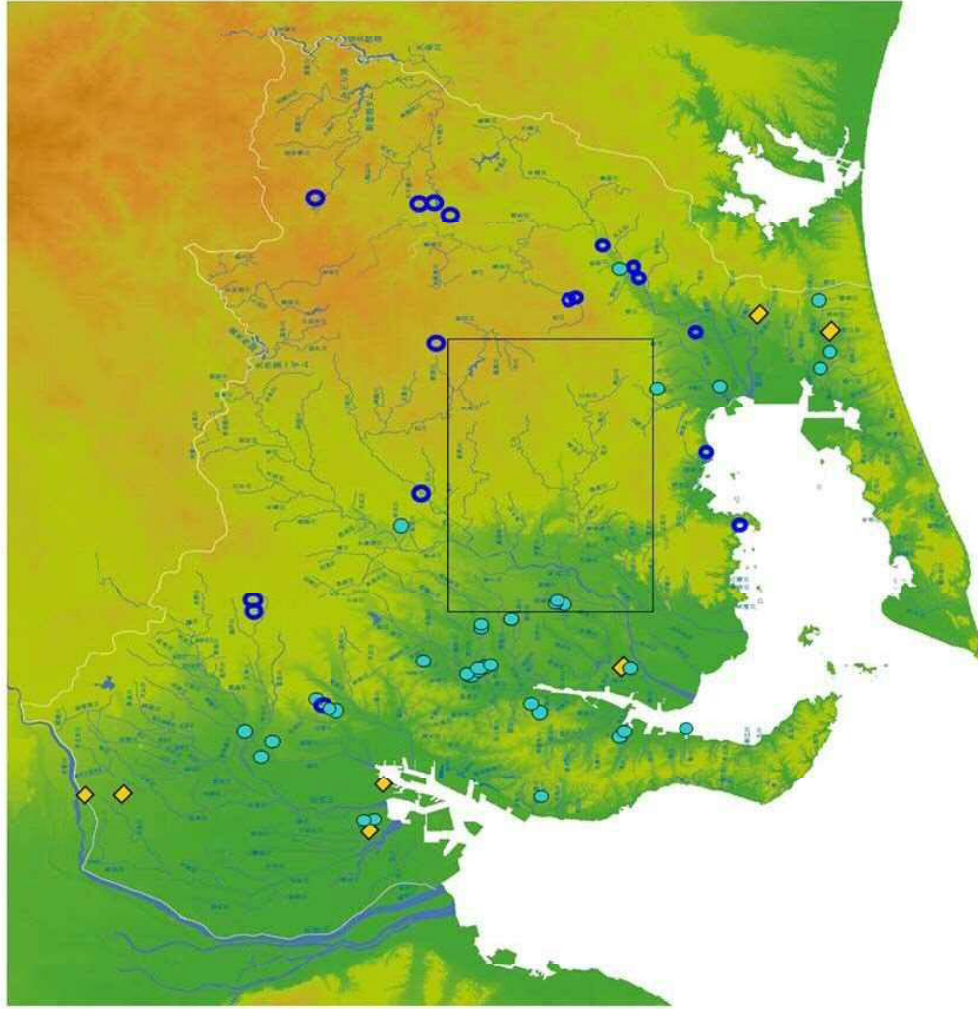
※ 流域名の後ろの【 】内の数字は地点数を示しています。

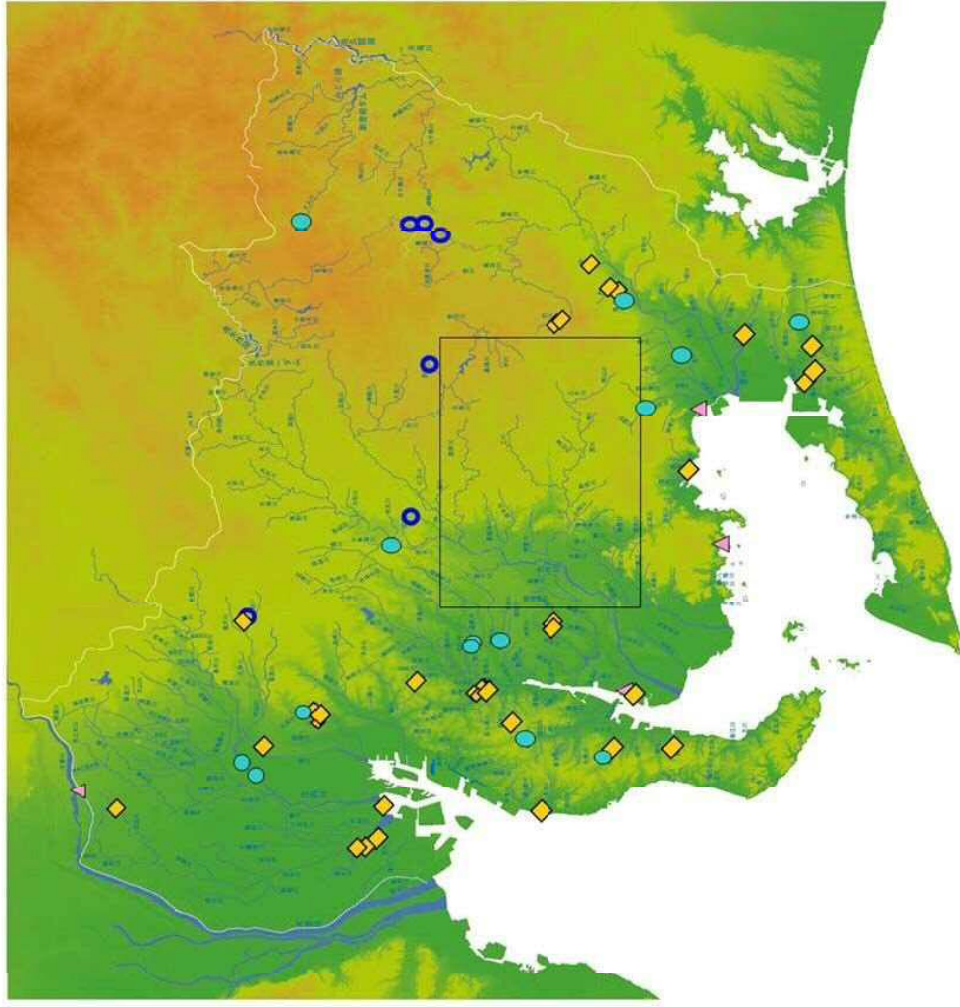
三河湾・外海沿岸域【4】

岡崎市周辺

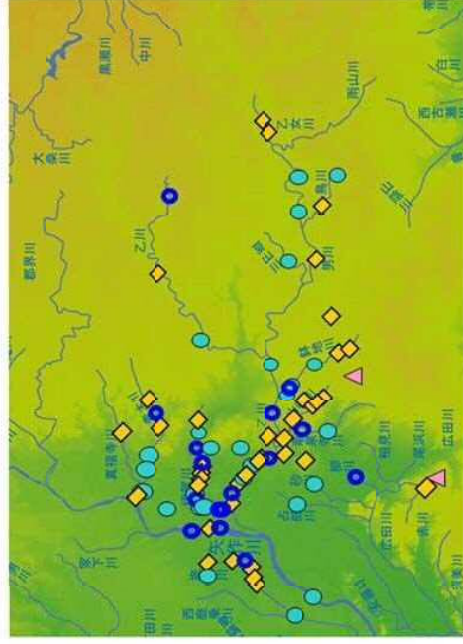


凡例	平均点	判定
○	4~5	安全できれい
●	3~4	←————→ 利用しにくい
◇	2~3	
△	1~2	



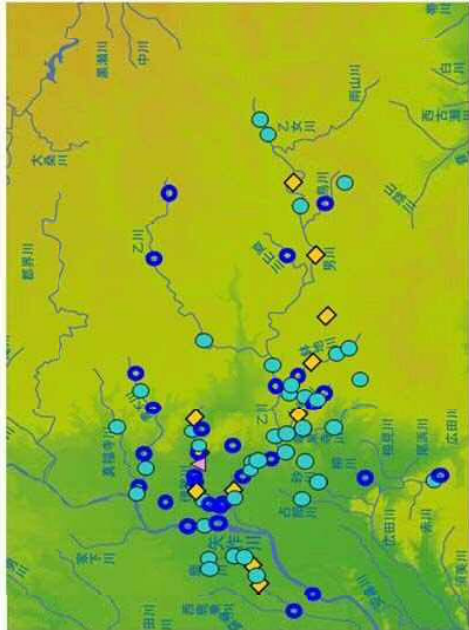


岡崎市周辺

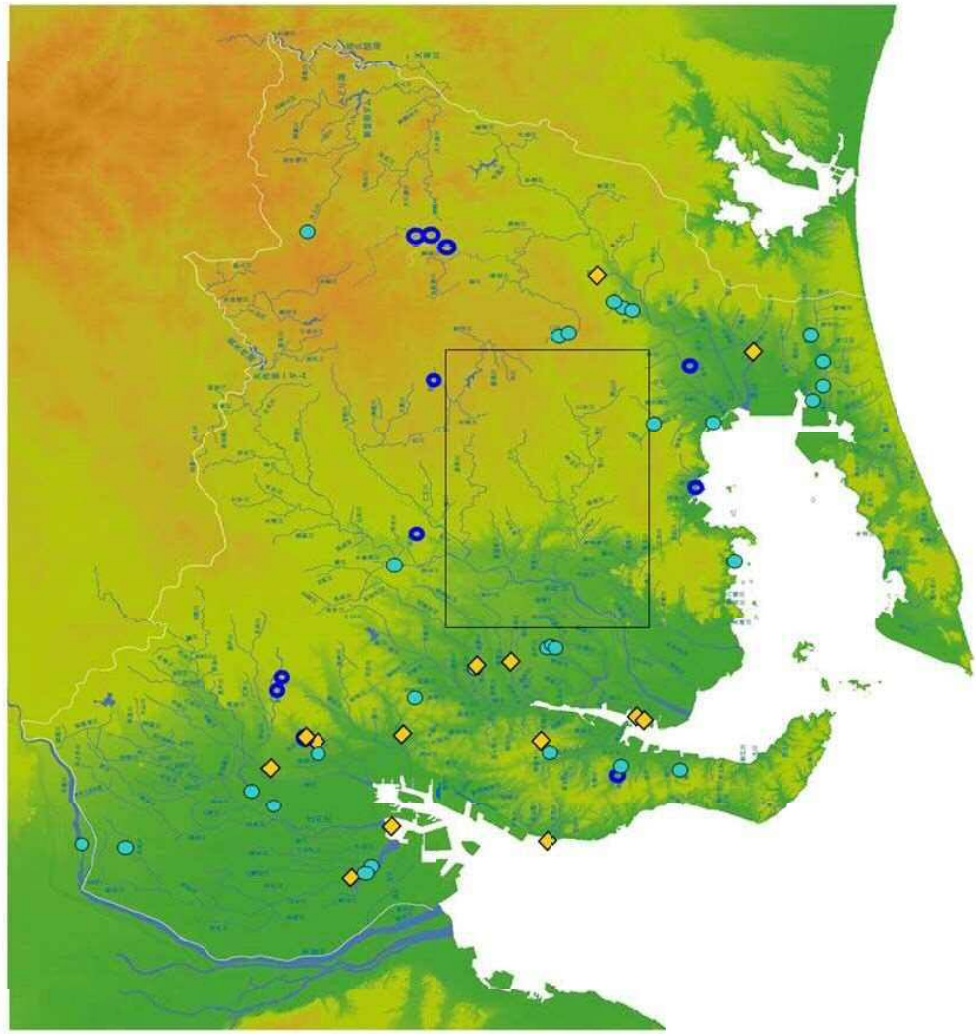


凡例	平均点	判定
○	4~5	安全できれい ↔
●	3~4	
◇	2~3	利用しにくい
△	1~2	

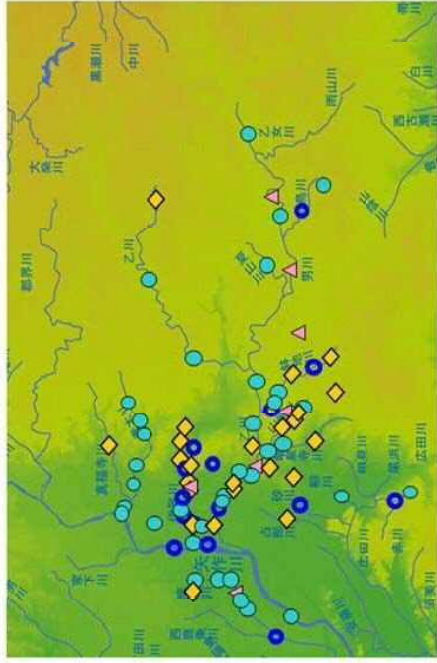
岡崎市周辺



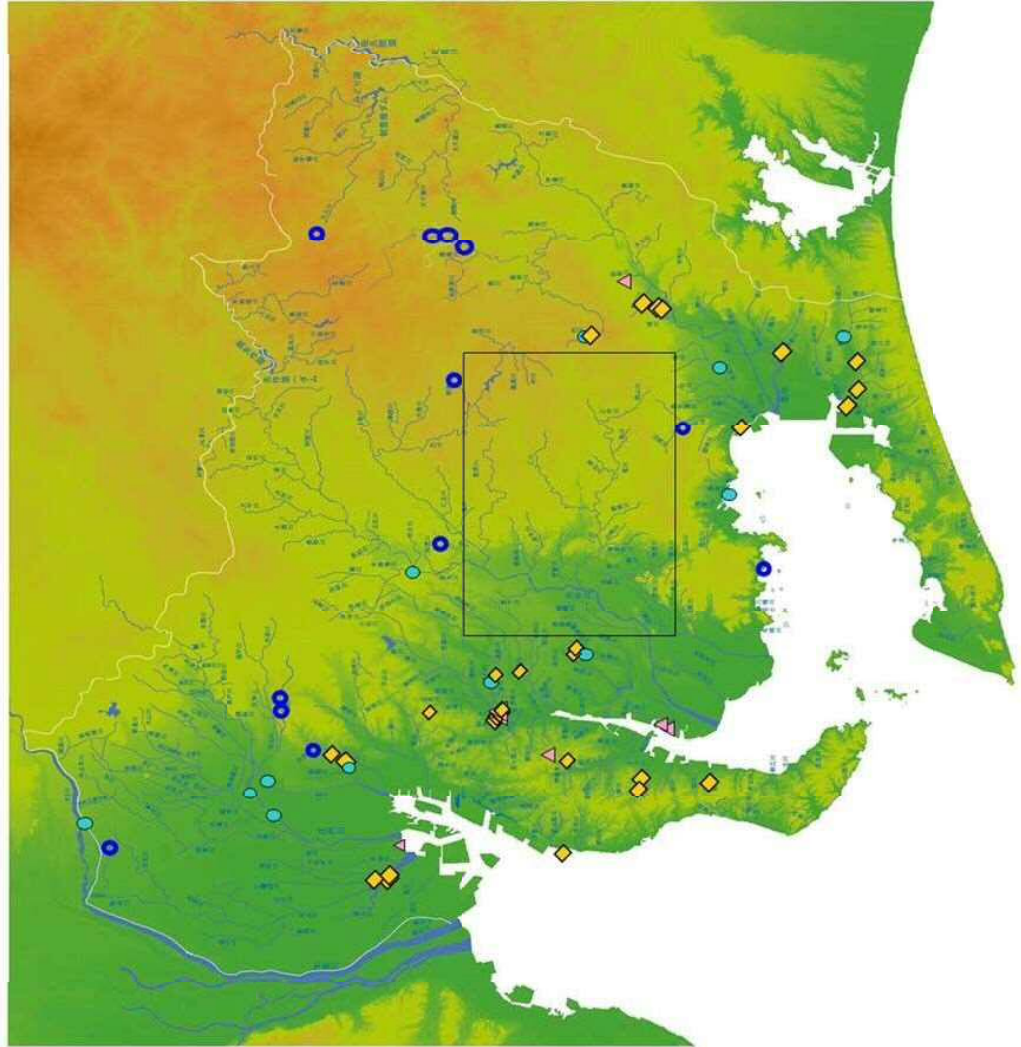
凡例	平均点	判定
○	4~5	安全できれい ↕
●	3~4	
◇	2~3	↕ 利用しにくい
△	1~2	



岡崎市周辺



凡例	平均点	判定
○	4~5	安全できれい ↔
●	3~4	
◇	2~3	利用しにくい
△	1~2	

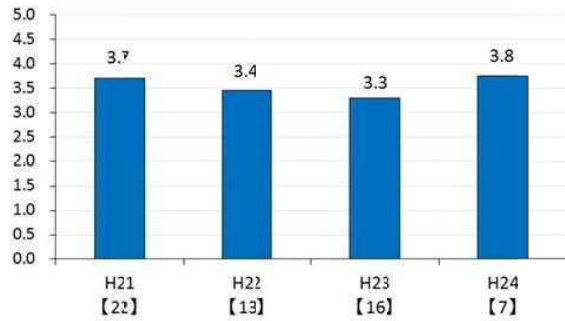


■ 木曽川・庄内川等流域

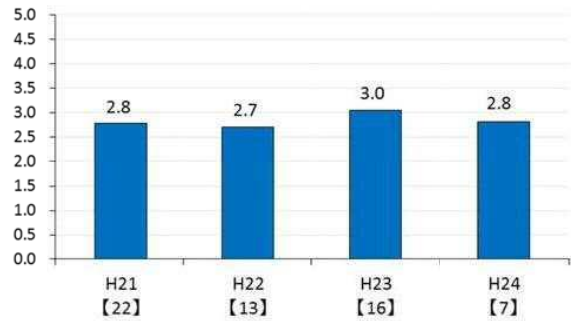
1 経年変化（平均値）

※括弧内の数値はデータ数を示す。

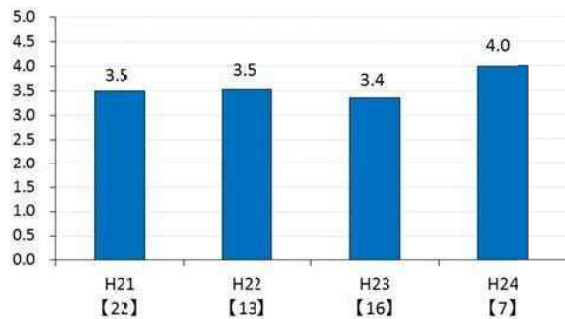
○水のきれいさ



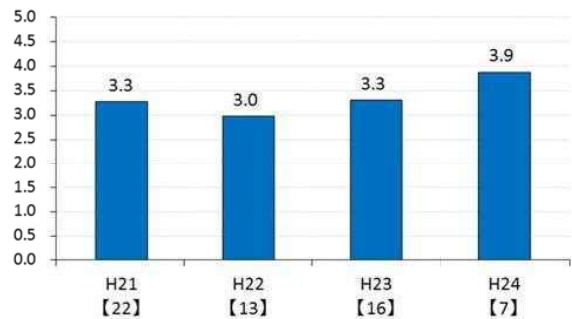
○水の量



○生態系

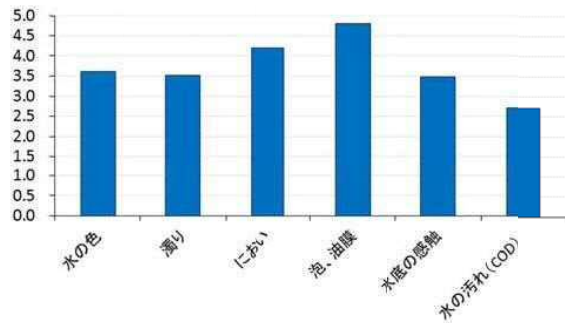


○水辺のようす

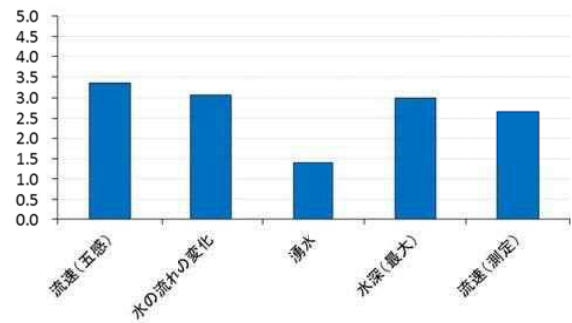


2 調査項目ごとの評点（平成 24 年度）

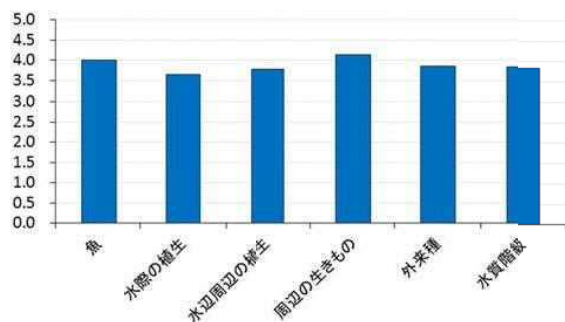
○水のきれいさ



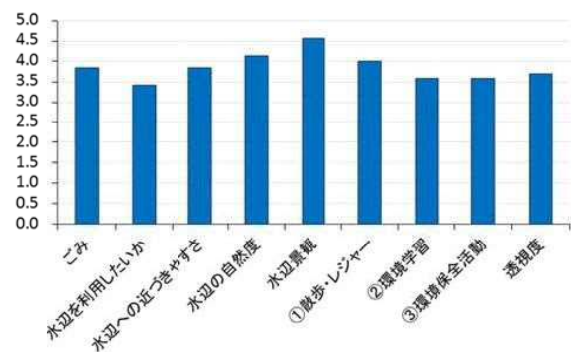
○水の量



○生態系



○水辺のようす

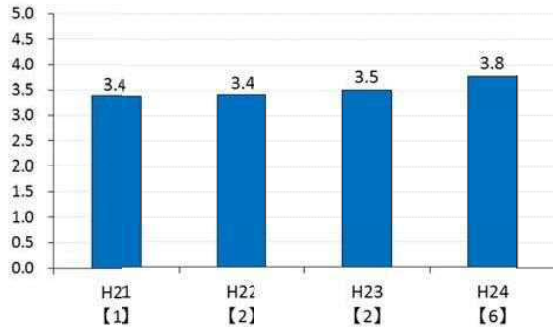


■ 天白川・山崎川等流域

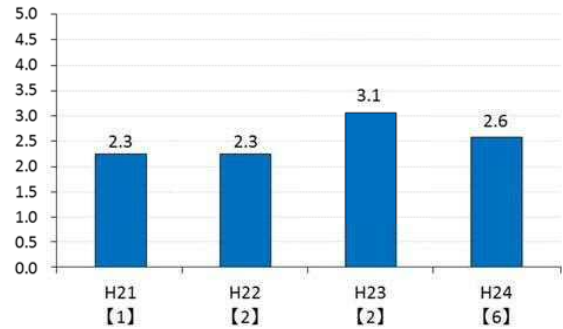
1 経年変化（平均値）

※括弧内の数値はデータ数を示す。

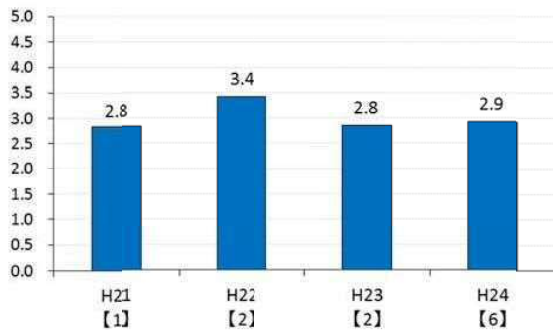
○水のきれいさ



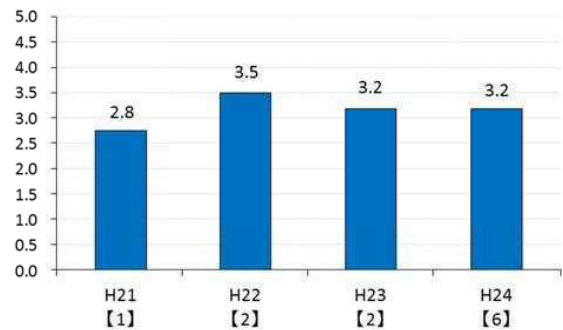
○水の量



○生態系

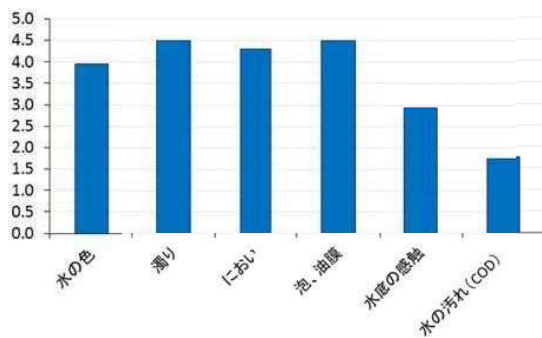


○水辺のようす

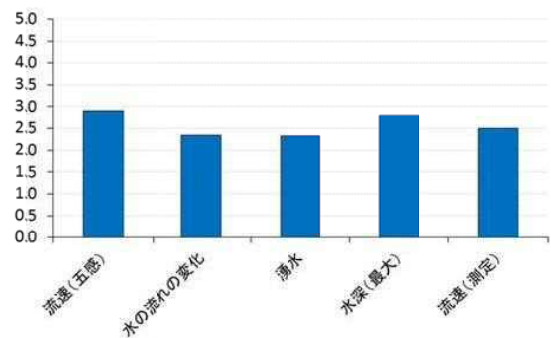


2 調査項目ごとの評点（平成24年度）

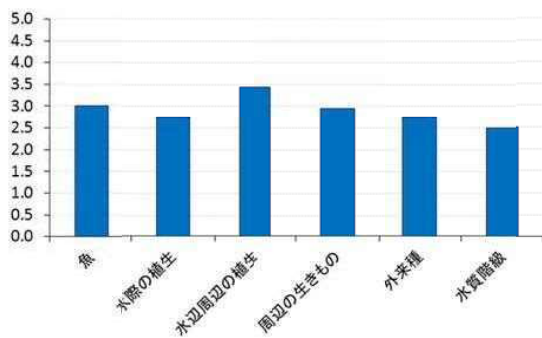
○水のきれいさ



○水の量



○生態系



○水辺のようす

